

# ふるる函館で避難所生活を体験しよう！

みなさん、こんにちは！ふるる函館です。9月30日（土）～10月1日（日）に開催いたしました「ふるる函館で避難所生活を体験しよう！」にご参加くださり、誠にありがとうございます。

当日は、44名の小学3～6年生にお集まりいただき、避難所生活を体験してもらいました。

1日目の最初は、北消防署の隊員の方々から、「毛布と物干し竿を使った簡易担架づくり」と、「三角巾を使った固定法と圧迫止血のしかた」を教えてくださいました。



次に、東日本大震災が起きた時、福島で実際に避難所生活をおくった職員から、体験談をお話しいたしました。そして、避難所生活を体験する時に起こりうること、心がけるべきことなどを、3コマ漫画のワークシートを使って、みんなで意見を出し合いながら、学びました。



夕方には、体育館にブルーシートを敷く作業、銀マット、毛布や寝袋の準備など、みんなで協力して行いました。夕食は、非常食として、スープ、缶に入ったパン、そして水だけでできあがるご飯をいただきました。



2日目は、ラジオ体操を行った後、みんなで協力して、銀マット・毛布・寝袋の片付け作業と掃除をしました。



朝の9時から、大研修室で2日間を振り返りながら、感想文を書きました。感想文が出来上がったところで、再び体育館へ移動し、谷地頭町会さんと合同で実施した、津波を想定したファミリー防災訓練に参加しました。防災訓練では、前日からの避難所生活で体験したことを発表し、参加者のみなさんに聞いてもらいました。



その次に、講師としてお招きした北海道地域防災マスターの方から、避難所生活のコツなどを教えていただきました。「避難所では、お客さんのつもりで生活をしましょう。お客さんとして、よその家へ行った時、勝手に冷蔵庫を開けたりしませんね。避難所も同じです。」「元気な子どもたちが、避難所を明るくする」等、わかりやすいお話が印象的でした。そして、西警察署の職員の方からも、防災に対して関心をもつことの大切さを教えていただきました。



今回、参加者のみなさんには、避難所生活を体験してもらい、みんなで協力することの大切さ、防災について関心を持つことの大切さ、普段、おいしいごはんを食べることができることのありがたさなど、いろんなことを感じ取ってもらったことと思います。みなさんが感じたことを、これからの生活でも大切にしてください。

また、他のイベントでも、みなさんのご参加をお待ちしています。ふるる函館でお会いしましょう！